



特集

三重大大学の学生起業者に聞きました
学生社長ってどう?

巻頭インタビュー

突撃!! 学長 インタビュー

「自分に足りないものを
常に考えとかないかん。」
内田 淳正 三重大学学長



普段、なかなかお話する機会がない大学長。

「学長」と聞くと、なんだか近寄り難くて、気軽に話せないようなイメージがありませんか？

そこで、在学生を代表して編集委員が内田学長に突撃インタビュー！

ずっと気になっていたアノ話題にも触れました☆

—最近、起業する学生が多いと思うのですが、どのように思われていますか？

学生のうちに起業して社会で実践することはとてもいいこと。知識だけあっても、社会で役立つなければ単なる知識に終わってしまいますから。実践と知識との融合によって、社会で役立つ知識になる。起業して安心するのではなく、起業を通して自分たちに何が足りないか？いつもそう思っておかないと。人間は死ぬまで勉強。大学を卒業したからといって、学ばなくていいことはない。学びの習慣を確固たるものにして、自分を高めないとはいけません。

—「大学で将来何をしたいかわからない」という学生が多いことについては、いかがですか？

高校3年生、18歳で将来を決めることは無理。「こういうことがやりたいからこの大学や」と決めた学生は少ないのでは？その結果、大学に入ったものの将来について分からなくなっているのでしょう。20歳過ぎくらいに自分を見極められるような大学制度や、大学のあり方も考える必要があるでしょうね。

—将来を決める上で大切なことは何ですか？

まずは決断をすること！自分の方向性を決めること。迷っていてもダラダラ行ってしまいます。そして、決めたら「自分は間違っていない」と信じて努力をする。どんな人にも迷いや悩みはあります。しかし、成功するためには自分を信じるかどうかです。自分に自信があるかどうかではありません。自分を信じて行動してほしいですね。

—どういう大学にしていこうと思われませんか？

「三重大学はいい学生を育てるな」と言われる大学にしたいです。そのために人財の育成に力を入れていきます。また、三重大学の教育目標として、「生きる力」「考える力」「感じる力」「コミュニケーション力」があります。はじめの3つは認知的知識であり、自ら学習できるもの。しかし、最後のコミュニケーション力は非認知的知識であり、人とぶつかって話し合うことで成長します。コミュニケーション力を養っていくという点でも、起業することはいいことなのです。ただ、全ての人が起業する必要はありません。新しいものに取り組むタイプの人、社会に出てから伸びるタイプの人、様々ですから。その人たちの特徴を活かしてほしいですね。様々な価値観によって、社会のバランスが保たれているのですから。

—では、少しプライベートな質問を…。内田学長といえば、豊かなヒゲがチャームポイントだと思うのですが、お手入れはどのようにされているのですか？

伸びてきたらハサミでそろえる程度です。いつでもできるからいいよね。

—なぜヒゲを生やされているのですか？

毎日決まった時間に剃らなくていいので、めんどくさくないからです。

—謎が解けました。ありがとうございます。



インタビューを終えて…

「自分に足りないものを常に考えとかないかん」
学長のその言葉が印象的だった。僕はたこ焼き屋を起業して1年以上になるが、慣れてくると足りないものを考えなくなってくる。「まあええか…」って。大学生生活も一緒ではないか？慣れてくると現状で満足しようとして考えることをしなくなる。一歩踏み出しチャレンジすることよりも、安定を求める。
一歩踏み出せば、知らない世界、とてつもなく広い世界が広がっている。その未知の世界を知りたいと思う。だから僕は旅に出る。自分に足りないものを探しに。(取材担当 教育学部 2年 森田 松之助)



Profile

内田 淳正
出身地：徳島県池田町
出身大学：大阪大学医学部
ヒゲの長さ：？
趣味：ゴルフ ハンディ10で80でまわる。
(自称、国立大の学長で一番うまい)、読書
愛車：マジェスタ

三重大学長のblog
「禿髭学長の通信」
<http://www.mie-u.ac.jp/blog2/>



学生社長ってどんな人？

◆ 今後の活動予定は？
多くの出会いからたくさんの繋がりができて、
みんなの夢が叶っていく場所にしたい

◆ 「繋がり」と「縁」

◆ 大学生活の中で、絶対に自信の持てる
経験をしたい

◆ どうして起業しようと思ったのですか？

◆ どんな活動をされているのですか？

◆ じゃあ、今は学生業より社長業の方が割合は大きいのですか？

◆ 自分のやりたいことをなんでもできる環境

◆ 好奇心の“芽”を育てる
◆ 起業理念は？

◆ どうして店を出そうと思ったのですか？

◆ 未来の大学生や在学生にメッセージはありますか？

特集

三重大大学の 学生起業者に聞きました

全国的に増えているといわれる学生起業家。

ここ三重大大学の中にも、積極的に活動している学生社長たちがいます。

彼らは何を感じ、何を考え、どんな活動をしているのか—。

そこに、「感じる力」「考える力」「生きる力」のヒントが見つかるかもしれないと、
彼らの姿を追いました。



File01 学生フリーペーパー発行^他

株式会社 CanalSquare 代表取締役社長
生物資源学部4年 堀口 修吾さん

大学生活の中で、 絶対に自信の持てる 経験をしたい

—どんな活動をされているのですか？

学生フリーペーパー「To Heart」の発行や、次世代農業インターンシップであるコミュニティインターンシップの企画・運営、学生フリーペーパー協会の運営などです。



これまでの「To Heart」

—どうして起業しようと思ったのですか？

一番の理由は「自分のやりたいことをなんでもできる環境を手に入れたかったから」でしょうか。起業する前にいろいろ活動し始めて、それが楽しくなって、しかもそれで実際にお金が少なからず回っている。真剣にやればまずは自分が生活できるくらいの収入は生み出せるんじゃないか!?なんて考えだして…。もちろん、実際にはそんなことなかったんですけど(笑)。そして、「企業に就職してやりたくないことを毎日続けて『早く休日にならないかなあ〜』って考える人生って何なんだ!?絶対に嫌だ!!」って極端な考え方から、「じゃ、起業しちゃえ!」って思って、起業しちゃった感じです。

—じゃあ、今は学生業より社長業の方が割合は大きいのですか？

今は学生として最低限のことはしなければならぬので、日中は実験、夜作業って感じなので、残念ながら自分の給料を出すほど稼げてないんですけどね…。ちなみに、今は土曜と日曜日もなにかしら作業してて、それが楽しいと感じています。周りからは変人扱いされますが(笑)。あとは、「大学生活の中で一つ絶対に自信の持てる経験をしたい」という思いがあったことも理由にあります。大学生になったら、とりあえず他人があまりしていないことをしようと思って。



編集会議の様子

—具体的にはどんなことをされたんですか？

一年生の冬に3カ月間雪山にこもってみたり、二年生ではインターンシップに参加してみたり就活してみたりとやってみましたが、実際にやってみるとどれもやっぱりこないというか…。誰でもできちゃうんですね、結局…。それからモヤモヤしているときに、三重大大学での「アントレプレナー論」(共通教育)という起業論の授業に出合って、いろいろな経験をして起業するまでに至りました。実際、会社を起こしたりするのも誰でもできちゃいますが…(笑)。でも、2009年の4月に起業

してからの一年間の経験は、一つの自信になったのは間違いありません。

—起業理念は？

会社の理念は「好奇心の“芽”を育てる」です。芽とはいわゆる若者のことです。目標として中学生・高校生・大学生をターゲットとして事業を展開しながら、「自分自身で自分の人生を切り開いていけ、広い視野を持ち、多角的な視野で物事の自分なりの正解を作り出すことのできる人材」を輩出したいと考えています。そのために、今は学生フリーペーパーを通じて積極性の大切さを伝えるとともに、「一步を踏み出すきっかけの提供」、「コミュニティーインターンシップを通じて広い視野の体感」を行っています。

—今後の活動予定は？

今後の活動として、まず一番力を入れていきたいのは、自分で新たに確立しようとしている「コミュニティーインターンシップ」の確立です。コミュニティーインターンシップとは、「地域全体を見渡し、農業・水産業・林業のネットワークを確立しながら自分達で“新たな価値”をその地域に生み出すための実践型インターンシップ」のことです。コミュニティーインターンシップという名前は私が考えました。

—詳しく教えてください。

世間では農業インターンシップとして一次産業を活性化しようとしており、実質的に現在多くの人が農業に目を向けるようになってきました。ただ、三重県のような場所では、それだけではだめなのです。三重県では一つの町に農林水産業が集まって町が成り立っています。農業だけに目をやるのが町の復興にはつながらないのです。この問題を解決するための取り組みとして、この事業を積極的に行いたいと思っています。また、参加する学生にとっては、一つの産業全体の動きを感じ取りながら“新たな価値”いわゆる“新たな商品”を考える経験は良い経験だと考えています。なぜなら、大学生の多くは自分自身の専門分野に特化してしまい、どうしても視点がミクロ化してしまいます。その中で、一つの産業を広く見渡すというマクロな視点で物事を考えることは、問題点発想の広がりや今まで見えなかった事実に出会うことを体感するチャンスとなるのです。

—なるほど。他はいかがですか？

あとは学生フリーペーパー協会を通じた学生向け情報発信のネットワーク構築です。情報発信のネットワーク構築は、今後新たな動きを見せる学生のサポートや、学生のマーケティング調査など幅広い用途が考えられます。そのために学生フ

リーペーパー協会のようなネットワークを大切にしていきたいですね。

—未来の大学生や在学生にメッセージはありますか？

特に伝えたいことは、「大学生活の中で一つだけでいいから絶対的に自信の持てる経験をしてほしい」ということです。なんでもいいと思います。部活でもサークルでもなんでも。ただ、自分がしてきたことに対して自分で自信を持つことが大切なんです。しかし、自分がしてきたことに自信を持つって、意外と難しいみたいです。

—そうですね。「優勝」や「合格」のような、周囲からの評価がないものに自信を持つのは難しいかもしれません。

ええ、そういうことを多くの就活生を見てきて感じました。先輩や同輩、後輩も必ず何かは、「自己PRが書けない」とか「面接で何を話せば良いかわからない」、「大学生活でがんばってきたことがない」などと言います。これってすごくさびしいことだと思いませんか？

—ええ、それはわかります。

せっかく高い授業料を払って4年間以上過ごす大学。今はお金を払って貴重な時間を手に入れています。社会人になったら自分の時間を社会のために使って、その対価としてお金をもらう。この差はかなり大きいのです。貴重な時間を自由に使える今だからこそ「絶対的に自信の持てる経験」を是非してください。それが第三者からみて大きいのか小さいのかは関係ないと思います。自分がそのことに対して誰に何と言われようと、自信を持って伝えることができるのかどうか。これが大切なんだと思います。「絶対的な自信の持てる経験」ができたのであれば、自然と今までで最高の達成感を感じることができるよう、皆さん頑張ってください。

—ありがとうございました。

Profile

堀口 修吾

生物資源学部4年

株式会社Canal Square 代表取締役社長

■所属

・To Heart編集部BLOSSOMLAB ・BLUE MARINE

・三重大学ベンチャーサークル ・中部学生ベンチャーネットワーク

■事業内容

・学生フリーペーパー「To Heart」の発行

・次世代農業インターンシップ

・コミュニティーインターンシップの企画・運営

・学生フリーペーパー協会運営

(取材担当 教育学部 2年 森田 松之助)



昨年7月、三重県庁近くに三重の学生たちが運営するカフェ&バー「O+」がOPEN。通常の営業以外にも、各イベントや地域コミュニティ再生への取り組みなどを実施。今後の展開が期待されています。

—どうして店を出そうと思ったのですか？

「自分の将来の夢のために何かしたい」、「社会に向けて何か発信していきたい」という気持ちを持つ人はたくさんいます。学生・社会人問わず、そんな人たちと話したい！そんな人たちと一緒に夢を追いかけていこう！これが私たちの素直な気持ちです。そこで夢を追う人、叶えたい夢を持つ人、さらには夢を探すが集えるような場所を、私たちが創りたいと考え、店を出そうと思いました。



豊富なメニュー

—お店のコンセプトを教えてください。

一言でいうと、「繋がり」と「縁」です。今日、僕たちが店を経営できているのは多くの方々と出会い、「繋がり」、ご支援

File02 Cafe&Bar 経営

Cafe&Bar O+代表

医学部2年 植田 大樹さん

多くの出会いから
たくさんの繋がりができて、
みんなの夢が叶っていく
場所にしたい。

いただいたことによってです。この「縁」の力には感銘を受けます。僕たちが感じた「繋がり」と「縁」を、より多くの人に味わってもらいたいです。



お客さんとの会話が弾みます

—店名はどこから？

「叶」という字をアレンジしてできました。開店の理由やコンセプトと重複しますが、多くの出会いの中でたくさんの繋がりができて、みんなの夢が叶っていく。そんな素敵な場所になれば…と思っています。

—スタッフは何人ですか？

現在6人です。

—実際に営業してみた感想は？

思っていたより難しいです(苦笑)。でも、本当にたくさんの方々に助けていただいて感謝しています。サポートしてくれた

方が、イベントでまた店を使ってくれたり…。マジシャンの方が来てくださっていることも、アクセサリー作家さんの作品を置くようになったことも、全て予想外。人とのつながりの大切さを感じますね。



—今後の活動展開を教えてください。

僕たちの店は、多くの人に手を添えていただくことによって初めて意味を成します。そのためには、より多くの人と出会わないといけません。様々なイベントに参加させていただいたり、企画したりしながら、多くの人と「繋がり」を築き、その「縁」を大切にしながら様々なことに挑戦し、様々なものを創造していきたいと思っています。

—医学科ですよね？勉強との両立は大変じゃないですか？

大変ですね(笑)。やはり学業が一番で、それがあっての店だと思うんですよ。何事も器用にこなしてきたつもりだったのですが、一度、勉強で痛い目をみてしまい…。それで、勉強も店も適当にこなしてはダメだと改めて感じました。しっかり勉強することが店のためでもあるのだと思います。

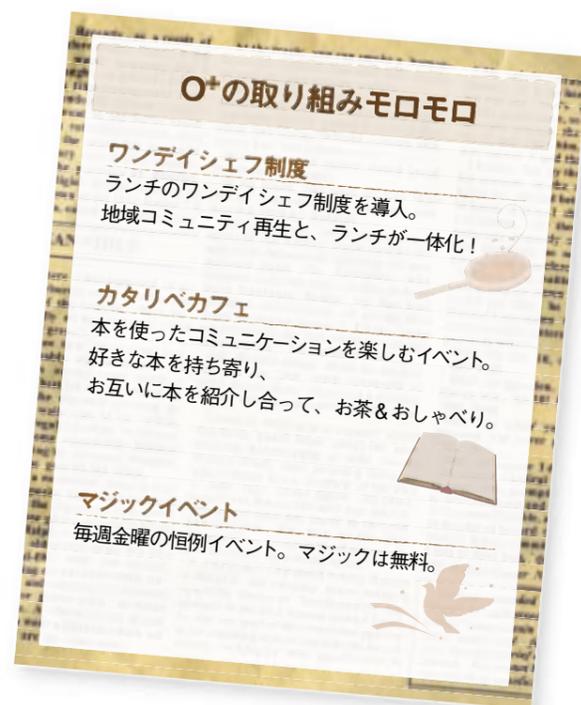
—新たに会社をつくったと聞きました。

はい、「合同会社BEK Brothers」です。学校がもっと便利になるように、学校と地域、学校と企業のように、学校と何かをつなげるビジネスです。世の中の仕組みを知りたいと思い、活動を始めたばかりです。

—三重大生に何かメッセージはありますか？

三重大生には、様々な考え方や経験を持っている人が多いと思います。「こういうことをしてみたい」、「自分の持っている経験・考えを何かに活かしたい」など、皆さんが思い描いていることを“学生”という権限をフルに活用して挑戦してみませんか？また、「自分は何も持ってない」と思い込み、それによって自分自身を小さいと捉えてしまっている学生もいるように感じますが、そういった人たちも身の回りで起こるイベントや話し場に参加してみようよ！

「動き出さない限り何も始まらない」という気持ちを持っていませんか？三重大生の今後の“動きだし”に期待したいと思っています。



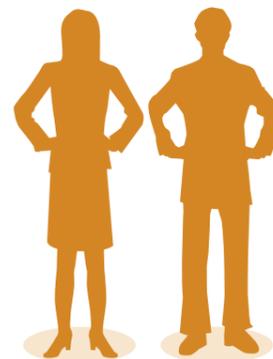
カフェ&バー O⁺(オープラス)
 所 津市羽所町531 大原ビル1F
 時 19:00~24:00(月~土) 11:00~14:00(土)
 休 日曜定休(予約利用は可能)
 問 090-5467-7287
 URL http://web.me.com/o_plus/Cafe&Bar_O+/
 BLOG <http://o-plus.cocolog-nifty.com/>



Profile

植田 大樹
 医学部 2年
 株式会社Cafe & Bar O+代表
 ■事業内容
 ・Cafe & Bar経営
 ■その他
 ・合同会社BEK Brothers

(取材担当 生物資源学部 2年 北岡 祐一)



File03 イベント開催

「社会起業家」と呼ばれる人たちをご存知ですか？社会起業家とは、さまざまな社会や地域の課題に新しい発想で取り組み、ビジネス的手法でその解決に当たる人のこと。三重県にもすばらしい社会起業家がたくさんいます。そこで、2009年10月24日(土)、三重大学医学部臨床講義棟第二講義室にて、「社会起業家フェスタ2009」を開催。三重県で活躍されている社会起業家の方たちによりパネルディスカッションや学生の活動報告、懇親会などが行われました。実行委員長であり、地産地消たこ焼き屋「たこのすけ」店主の森田松之助さんにお話を伺いました。



教育学部 2年 森田 松之助さん

Profile
 教育学部スポーツ健康科学コース2年
 たこ焼き屋「たこのすけ」店主
 ■所属
 ・水泳部 ・フリまちゅ ・三重大学ベンチャーサークルKGB ・KING2009 ・NEO
 ■事業内容
 ・たこやきの研究、販売 ・リヤカーで旅をする
 ・三重大新歓などのイベントの企画、運営
 [たこのすけ大学]
<http://takonosuke.mie1.net/>



—どうしてこのイベントを企画したのですか？

さまざまな分野で活躍されている社会起業家と呼ばれる人たちの活動を知り、つながりを持つことで、地域活性化や社会的課題の解決に役立てられるような取り組みができないか、学生が自分自身で何らかの行動を起こすきっかけになるのではないかと、そういう思いから企画しました。

—学生が自分から何かに挑戦しようとする姿はあまり見られないですね。社会人とのつながりもバイトぐらいです…。ちょっとまだ、社会起業家とは、どんな方たちなのかわからないのですが…。

そうですね…。具体的な定義はありませんが、人づくりやまちおこし、コミュニティ形成など、社会や地域の課題を、ビジネス的手法で解決しようとしている人たちです。最近では経済産業省もこの分野に力を入れており、存在が目立ってきています。



—そうなんですか！ビジネスを使って社会問題を解決するなんてカッコいいですね！知りませんでした。

日本ではまだまだ知名度が低く、約8割の人が社会起業家を知らないそうです。アメリカやヨーロッパのほうではかなり知名

度も高く、カッコいい仕事として評価されているんですけどね。

—日本でも普及するといいですね！企画や運営は大変だったんじゃないですか？

イベントの運営は本当に大変でしたね！もうね、忙しすぎて死ぬんじゃないかと。精神的にも病んでましたね…。なかなかパネリストが決まらなかったり、営業がうまくいかなかったり…。でも、メンバーや多くの方の協力によってなんとか開催することができました。自分一人では成功できなかったと思います。



—当日や準備段階で、社会起業家の方たちといろいろお話されたと思いますが、印象に残っている言葉や出来事はありますか？

当日は照明やパワーポイントのどの運営に追われて、じっくりお話を聞けませんでした。しかし、様々なイベントを通じて地域をよくしていこうという思いが、皆さんから伝わってきました。自分の発表後、「とても共感できた。これからはがんばってほしい」と言われて、嬉しく思いました。「社会起業家フェスタに呼んでくれてありがとう。来てよかった」という言葉が一番うれしかったですね！！

—このイベントで得たものはありますか？

そうした苦労があったからこそ、得られた達成感は相当なものでした。たくさんの社会人の方との人脈もできました。このフェスタをきっかけに、少しでも多くの三重大生が新しいことに挑戦してくれればいいです！もっと三重大生が活発に活動することで、地域がもっともっと活性化していくのではないかと思います。

—ありがとうございました。

(取材担当 生物資源学部 2年 北岡 祐一)



TFT って知ってる??



写真提供: TABLE FOR TWO

Q 彼女に「TFTって知ってる?」と聞かれ、つい「当たり前やんか」と知ったかぶりをしてしまいました。今さら聞けません。一体なんのことでしょうか??

A 知ったかぶりはいけませんね。他にも知らない三重大学生のために、三重大学TABLE FOR TWOの青柳誓悟さん(医学部 2年)に教えてもらいましょう。

Let's Go!

— 青柳さん、TFTとは何ですか？

日本のNPO法人「TABLE FOR TWO International」が運営する社会事業です。

— どんな事業なのですか？

先進国の飽食による健康問題を見直しながら、発展途上国の子どもたちにあたたかい学校給食を届けるビジネスです。

— 寄付活動とは違うのですか？

これまでの寄付活動と違い、その仕組みがとてもユニークです。まず、先進国の企業や大学の食堂で、カロリーを抑えたヘルシーメニューを加えて、食生活を見直すきっかけにもらいます。そして、ヘルシーメニュー1食につき、売り上げのうちの「20円(=アフリカの給食1食分の値段)」が、TABLE FOR TWO事務局を通じて、現地に送られます。ヘルシーメニューを食べるだけで、



写真提供: TABLE FOR TWO

誰でも気軽に国際貢献できて、自分の健康のためにもなる。TABLE FOR TWO、つまり「2人のための食卓」です。



— ああ、なるほど！ どうして三重大学にTABLE FOR TWO (以下T・F・T)を導入しようと思ったのですか？

T・F・Tのことを知って、三重大学でも、こんな活動ができたら素

敵だなと思ったからです。

— どうやって知ったのですか？

九州での2つの出会いが背中を押してくれました。まず、九州へ講演に来ていたT・F・T事務局長・小暮真久さんとの出会い。そして、先進的なT・F・T活動を展開している熊本大学の方々との出会いです。T・F・Tは、国内の200を超える団体に導入され、さらに海外にも拡がりつつあります。T・F・Tを応援する大学生の全国組織もあって、活動の拡がりは爆発的です。



写真提供: TABLE FOR TWO

— 小暮事務局長の印象は？

とても控えめで物静かな方でした。自分の話は少なめに、相手の話にじっくりと耳を傾けるという感じで。世界的なNPO活動をされている方なので、お会いする前は、とっても熱血漢で、迫力のある人かな？と思っていたので、新鮮な驚きでした。小暮さんの著書が生協書店にありますので、興味のある方は読んでみてください。



写真提供: TABLE FOR TWO

— 今後はどんな学生生活を送ろうと考えていますか？三重大学に期待することは？

まずは、きちんと勉強を…。それから、地域社会や世界に目を向ける努力をしていけたらな、と。三重大学に望むことは…三重大学T・F・Tを末永く応援してください(笑)。それと、学生のいろいろな活動をもっともっと応援してもらえたらと思います。今回のT・F・Tの導入も、内田学長を筆頭とする各学部長の先生方、そして岡本専務理事をはじめとする生協スタッフのみなさんの協力があったからこそ、ここまでスムーズに進んだと思います。心より感謝しています。



写真提供: TABLE FOR TWO



もっと詳しく知りたい、連絡を取りたい方は下記まで

■ TABLE FOR TWO <http://www.tablefor2.org>

■ 事務局長・小暮さんのブログ <http://ameblo.jp/tablefortwo/>

■ TABLE FOR TWO 大学連合

E-mail: table-for-two-university-association@googlegroups.com



TFTメニュー発表!!

三重大学の学食に新たなメニューが登場！三重県食材を使ったり、野菜をたっぷり使ったりと健康的。おいしくてヘルシー、しかも国際貢献もできるメニューです。いろいろ食べ比べてみましょう！



キムチめかぶ丼(約440Kcal)
めかぶとオクラのネバネバが、食欲のないときもツルツルっと食べられます。



高野豆腐のビビンバ丼(約635Kcal)
お肉の代わりに高野豆腐を使用



焼きチキンサルサソース(約440Kcal、セット約726Kcal)
同オクラえのきソース(約405Kcal、セット約691Kcal)
同レモンあん(約410Kcal、セット約696Kcal)



五目野菜うどん(約500Kcal)

活動に関心のある方、お手伝いしてもらえ方はコチラへ！

生協事務局(第1食堂2階)
TEL 059-231-1103
三重大学TABLE FOR TWO
E-mail: sa1976@live.jp



事務局長・小暮さんの著書

「『20円』で世界をつなぐ仕事」

2009年 日本能率協会
マネジメントセンター発行
*2009年ビジネス書大賞新人賞受賞



三重大オシャレスナップ!!

三重大のオシャレな学生を激写!!

いや〜オシャレですね!オシャレな人ってかっこいいですね。かわいいですね。みなさんも服を選ぶときは、このオシャレスナップを参考にしてみてくださいませんか?!

1. 名前
2. 所属
3. よく買い物する場所
4. 好きなブランド
5. メッセージ



1. 小山直紀さん
2. 工学部 2年
3. 古着屋
4. TIMEX
5. No Music, No Life!



1. 坂野優貴さん
2. 教育学部 3年
3. パルコ、SLYZ & SHAFT NAGOYA
4. ジュンヤワタナベマン、Y-3
5. 友達をたくさん作るともっと大学が楽しくなるよ



1. 泉 麻依子さん
2. 工学部 1年
3. AnotherEdition
4. JEANASIS
5. 高知県に住みましょう!



1. 滝 良典さん
2. 生物資源学部 2年
3. SHIPS
4. Vivienne Westwood
5. 燦々と咲き誇る向日葵に僕はなりたい



1. 池田汐里さん
2. 人文学部 1年
3. PARCO 四階、HANJIRO、VEGO、mhp、ネクストフンスタイル
4. Vivienne Westwood
5. 中田ドラゴンのファンです!



1. 小野晴加さん
2. 教育学部 1年
3. 4. LEPSIM LOWRYS FARM
5. 撮影の日まがえた!!



1. 西村美子さん
2. 医学部 2年
3. 栄、PARCO
4. flower、Crisp
5. インド

あとがき
やっぱり大学生…オシャレには気を遣っているんですね!それにしてこの企画は楽しかったです。いろんな人と関わり、写真を撮る…カメラマン篠山紀信のような感覚ですね。スナップに協力してくれた皆さんありがとうございました!これからも三重大のファッションリーダーとして活躍してください。
学生編集委員長 森田松之助

THE★飲み会! アンケート調査 & 飲み会を120%楽しむための秘策はコレ!

大学生になったら、切っても切り離せないもの。そう!それが飲み会!今回はそんな飲み会についての調査を行いました。そして、飲み会を120%楽しむための対策を伝授!!! これを読まずして、飲み会は楽しめません!(取材担当 教育学部 2年 水野彰人)

- 三重大校内にて、飲み会について質問しました!
- 名前(学部・部活・サークル)
1. よく利用するお店
 2. コール
 3. 失敗談
 4. 気をつけること

平田憲史さん
(医学部2年・医学部卓球部)

1. KAMAYAN
2. 粗相コール
3. 酔いつぶれて人に運んでもらったこと
4. 自分の限界を知って、その場で吐かないように飲む

運ばれた方は覚えてないのですが、運ぶ方はちゃんと覚えてますよね。で、後で何か言われます。「覚えてないものはしょうがないじゃん!でも、ごめんさい。」



村木厚紀さん
(医学部2年・医学部硬式テニス部)

1. ジャンガ、バズーカ
2. いい男 いい男
3. 酔って口説いた。
4. 初対面の子には、

ホントはどうでもいい男
しかし、記憶はない
ベロベロに酔った状態ではあまりからまないこと

お互いがオープンになれる結果ですね。言うならば、A T フィールド(心の壁)が薄れていくからこんな行為ができる。お酒の力は偉大!



鈴木大也さん
(教育学部2年・水泳部)

1. 主に宅飲み。たまにぼんや
2. オールマイソウツ!
3. 洗濯物にリバーズ。または深夜徘徊してどっかのトイレで就寝
4. できるだけ他人に迷惑をかけない

伝説の男。彼と飲むとオモシロイです。ちなみに、私は、つづれた彼を知らない人の家の玄関に置き去りにしてしまったことがあります。朝、見に行ったら、メガネだけが残っていました。



井上佑さん
(生物資源学部2年・アメリカンフットボール部)

1. ジャンガ
2. 自分からはしないけど、コールされたらまず飲む
3. 好きな女の子が
4. 無理をしない、無理をさせない。

寒そうに見えたので、そっと抱きしめてあげた。
それ以外は思うがままに飲む!



桐畑陽子さん
(生物資源学部2年・軽音楽部)

1. ぼんや
2. ○○のちよっと
3. 日本酒を2人で一本空けて、壮絶な
4. 人を煽りすぎないこと

いいとこ見てみたい!
二日酔いになった



高橋雄太さん
(教育学部2年・陸上競技部)

1. 車カ、KAMAYAN、ジャンガ
2. ビーヤビヤ!!
3. 茂みの中で○○こをもらした。
4. ほどほどに。自分の限度を知る!強要されても断る勇気を持つ!

人の服やかばんに吐いた



コールされたらまず飲む精神はいいですね!飲み会も盛り上がりやすいです。でも、「そっと抱きしめてあげた」ってところに鳥肌が立ちますね。危険です。女の子はこういう野郎に注意しましょう。

写真から、お酒が好きそうなオーラがにじみ出ていますね。「お酒足りないわよ!」と言わんばかりの飲みっぷり。人を煽りすぎはいいけません。後に倍になって返ってきます。

そうですね。いかに楽しく飲み会と言っても、無理して自分の限度を超えて飲んで、倒れてしまったら元も子もないですね。飲み会の最後はおむつを履いておいてね。

編集委員(50代)よりアドバイス!!

「飲めない人に無理やり飲ませない」「自分の適量を知る」「イッキはよそう」この3点を守った上で、楽しく飲みましょう。

飲み会を120%楽しむために…

参考資料: <http://www.hotpepper.jp/doc/bounenkai/nandemo/hang.html#01>

飲み会前

飲む前に少し食べておくのがオススメ。ウコンやアミノ酸などのサプリメント、胃腸薬を飲んでおくのも効果あり!

効果的な食べ物

牛乳・チーズなどの乳製品、梅干し、柑橘類の果物、お酢

飲み会スタート!

必ず食べ物を少量でも胃に入れてからお酒を飲もう。お酒をチャンポンするときには用心。そして、さりげなく二日酔いになりにくいおつまみをチョイス!

二日酔いになりにくい(と思われる)メニュー

枝豆、納豆、唐揚げ、焼き鳥、グラタン、ピザ、大根サラダ

努力むなしく… 二日酔いになってしまったら!

水やお茶、スポーツドリンクなどで水分補給し、排尿を促してアルコールが体外へ排出されるようにしましょう。さらに、ぬるめのお風呂に浸かって、汗をかくことで新陳代謝を活発にすることも大切。

早めの復活に効く! おたすけフード

カキ、リンゴ、グレープフルーツ、卵、大豆

よく、迎え酒って言うけど、これはNG! 気分がスッキリするような気がするのは、二日酔いの不快な症状を、アルコールで一時的にマヒさせているだけです。

実録!

たまご×かけ ゴハン大会

日本人はごはんに生卵をかけて食べる。
醤油をかけるのが一般的ですが、本当に醤油が一番おいしいのでしょうか？
一人暮らしで時間がないときも簡単にできる、たまごかけゴハン…。
その奥深さに魅了された編集者は、
何をかければ一番おいしくなるのかを調査しました。
(取材担当 人文学部 2年 臼井 佑佳、人文学部 2年 鈴木 里奈、教育学部 2年 森田 松之助、
教育学部 2年 水野 彰人、医学部 2年 宮谷 佑佑、生物資源学部 2年 北岡 祐一)

ENTRY

- 1 イタリア系「クレイジー」
ベーコン、オリーブオイル、
クレイジーソルト、しょうゆ
- 2 韓国系「うまキムチ」
キムチ、ごま油、しょうゆ
- 3 インド系「味薄いカレー」
カレー
- 4 日本系「ぐちゃぐちゃ」
豆腐、かつおだし、しょうゆ
- 5 すき家系「すき家の牛丼」
すき家のお菓子
- 6 デザート系「うに」
プリン、しょうゆ
- 7 お子さま系「ミートボール」
ミートボール、マヨネーズ
- 8 逆系「ごはんかけたまご」
ご飯と卵の比率が逆

- ★ 残念!
- ★★ 微妙?
- ★★★ 普通
- ★★★★ けっこうイケる
- ★★★★★ GOOD JOB!

1 オリーブオイルとベーコンの相性が抜群!



見ため ★★★★★
おいしさ ★★★★★
斬新性 ★★★★★

2 マシッソ マシッソ



見ため ★★★★★
おいしさ ★★★★★
斬新性 ★★★★★

3 インド人もびっくりのめっちゃ薄味でシャバシャバのカレーです



見ため ★★
おいしさ ★★
斬新性 ★★

4 かつおだしが利いている落ち着いた和風の味です



見ため ★★
おいしさ ★★★★★
斬新性 ★★

5 すき家のほうがおいしいです



見ため ★★
おいしさ ★★
斬新性 ★★★★★

6 プリンにしょうゆをかけるとうにになるというわけです



見ため ★
おいしさ ★★
斬新性 ★★★★★

7 子どもに大人気お弁当にもどうぞ



見ため ★★
おいしさ ★★
斬新性 ★★

8 逆の発想ですねほとんど生卵ですね



見ため ★★
おいしさ ★★
斬新性 ★★★★★

教育学部家政科 磯部先生より

卵を生で食べる場合は賞味期限を守ってください。買ったすぐに冷蔵庫に入れて保管すること。このときに尖っているほうを下にすると長く持ちます。卵の卵白には菌をやっつける酵素があるので、うまくいけば1年くらい腐りません。加熱したゆで卵の方が長く持ちますように思われがちですが、生卵のままのほうが腐らずに保存できます。卵は栄養価が高いので、これにも一品野菜などを加えるとバランスのとれた食事になります。

あとがき

卵かけごはんは日本人が生み出した栄養価も高い最高の料理です。工夫次第でいろんな味が楽しめます。みんなも自分だけの卵かけご飯を発明してください。

三重のえネトコ! 伊賀の里モクモク 手づくりファーム編

三重県にはえネトコがたくさんあります。その中から、われら編集委員が目にしたのは、「伊賀の里モクモク手づくりファーム」。
しかも、三重大から車で1時間弱! さっそく行ってきました!
(取材担当 医学部 2年 宮谷 佑佑)

モクモク手づくりファームとは…
1983年誕生。直営農場と農産加工工房を基盤とし、年間34万人の来園者を誇るファクトリーファーム(農業公園)運営や会員制の農産物通信販売などを行っています。

えネトコ1 「うまい!」

数々の賞を獲った地ビールは、熱処理もろ過もしておらず、生きた酵母がそのまま入っています。
化学調味料を使わないジューシーなウイナー。IFFA(国際食肉見本市)におけるハム・ソーセージのコンテストでは、過去に何度も入賞しているのだとか。
自分で採ったシイタケをその場で焼いて食べられます。その他にもうまいものがいっぱいあります!! さまざまな農作物・加工品などは、「おいしさと安心の両立」をテーマにつくられています。

えネトコ2 「おもしろい!」

いろんな体験ができます!



ジャージー牛の乳搾り体験



ウイナー・手づくりパンなどの体験教室

えネトコ3 「のんびりできる!」

自然・動物に触れあい、心穏やかに…



※ファーム内では、ミニボタ君たちが園内をお散歩しています

さらに! さまざまな体験教室やイベントの開催のほか、宿泊も可能。1日1組限定で結婚式も!!

農事組合法人 伊賀の里モクモク手づくりファーム 〒518-1392 伊賀市西湯舟 3609 TEL 0595-43-0909 入園時間 10:00 ~ 16:30
<http://www.moku-moku.com/>

編集後記

1



今までにない最高のMIUを作った!! そういう気持ちで学生編集委員長を務めました。いや、おもしろかったですホント。取材に行ったり、写真撮ったり、飲み会したり。雑誌の編集ってなかなかできない経験ですよ。学生編集委員長をやったホンマに良かったです。協力してくださった皆様、本当にありがとうございました!!

教育学部2年 森田松之助

2

はじめは学生編集委員長の松之助から一緒にMIU編集に関わってくれと言われ、仕方なしで始めたものの取材するうち、記事を書くうちに何だか生半可にできないと思ってきました。そしてつい完成!! 協力していただいた皆さまありがとうございます。そして、どうかこの一冊を手にとって読んでいただくと幸いです。

生物資源学部2年 北岡祐一



3

今回、初めて編集に参加させていただきました。あまり力にはなれませんでした。笑顔の写真を撮るのはとても楽しかったです。カメラに向かって、まばゆい笑顔くれた方々、ありがとうございました!

人文学部2年 鈴木里奈

4



医学部2年 宮谷佑佑

今回森田君に誘われてMIUの編集委員をしました。あまり手伝うことができなかったのですが、その中でも色々な人に出会い貴重な経験をすることができました。改めて人との出会いの大切さを実感できたのでよかったです。

5



教育学部2年 水野彰人

飲み会について担当でした。飲み会について面白エピソードを持っている人を探したのですが、案外見つからないものですね。もっと自分をさらけ出して、伝説を残す勢いで挑むと、飲み会が楽しくなること間違いなし! お酒を恐るな! そのための二日酔い対策です! でも、自分の限度は知っとこう!

6



人文学部2年 臼井佑佳

今回MIU編集初参加させていただきました! 特になまごかけご飯は新しい発見ができて楽しかったです! その後の飲み会では…(苦笑) ある意味で忘れられないMIU仲間との思い出ができました!(笑)

MIU学生編集委員募集!

MIUは、あなたと同じ「三重大生」がつくっています。

- 活動内容 …………… 記事の企画・インタビュー(交通費は出ます)
- 資格 …………… 三重大生であること。あとは「やる気」で勝負!
- 募集する人材 …………… 就職前に企画力を試したい
取材をとおして多くの人に会ってみたい
仲間と楽しいことをやってみたい など
- 応募方法 …………… 学務部教務チーム共通教育事務室に
申し込んでください。

E-mail: sumu@ab.mie-u.ac.jp

これが一番のメリットです☆

- ★自分たちで企画!
- ★卒業生や先生にインタビューできる!
- ★自分の言葉で記事が書ける!
- ★いろいろな学生と仲良くなれる!



